



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 沖電気工業株式会社
 コード番号 6703 URL <https://www.oki.com/jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鎌上 信也

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山内 篤

TEL 03-3501-3836

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	218,384	12.8	5,201	545.6	2,937		4,060	
2019年3月期第2四半期	193,576	0.2	805		849		2,579	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,342百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 2,393百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	46.92	46.85
2019年3月期第2四半期	29.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	357,945	100,524	28.0
2019年3月期	365,503	100,200	27.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 100,256百万円 2019年3月期 99,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	4.2	18,500	5.6	15,500	0.1	14,000	66.6	161.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	87,217,602 株	2019年3月期	87,217,602 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	688,282 株	2019年3月期	709,516 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	86,530,194 株	2019年3月期2Q	86,508,352 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2019年11月7日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の概況

社会におけるデジタル変革の加速もあり、OKIを取り巻く事業環境は著しい変化が続いています。一方で、そうした変化が新しいビジネスチャンスとして広がっています。

そのような事業環境の中、OKIは得意とする信頼性の高いモノづくり技術をベースとして事業展開しています。また、130年を超える歴史で築き上げたインストールベースと顧客基盤を企業価値創造の源泉として、ネットワークやセンシング、データ処理・分析の技術を融合し、新しいニーズにマッチしたビジネスの拡大に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の業況は、堅調な情報通信事業が全体を牽引し、売上高は2,184億円（前年同期比248億円、12.8%増加）となりました。増収に加え、前年に実施したメカトロシステム事業の事業構造改革の効果が着実に表れたことなどにより、営業利益は52億円（同44億円増加）、経常利益は29億円（同37億円良化）となりました。

2019年4月1日付で実施した子会社間の合併に伴う事業所等の見直しなどにより、固定資産売却益を48億円、また資産効率の観点から非事業用資産の縮減に取り組んだ結果、投資有価証券売却益を25億円、それぞれ特別利益に計上しました。その一方で、特別損失として、ブラジル子会社の事業譲渡に関連して事業構造改善費用16億円を計上しました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億円（同67億円良化）となりました。

なお、当連結会計年度より、主に情報通信事業において工事進行基準の適用範囲を拡大しており、その影響として売上高は162億円、営業利益および経常利益は17億円それぞれ増加しております。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	2,184	1,936	12.8%
営業利益	52	8	545.6%
経常利益	29	△8	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	△26	—

事業別の外部顧客に対する売上高および営業利益は、次のとおりです。

②事業別の状況

<情報通信事業>

売上高は、1,036億円（前年同期比353億円、51.8%増加）となりました。キャリア向けのネットワーク構築の大型案件や社会インフラ関連の増加など、事業全般において順調に推移しました。加えて、工事進行基準の適用範囲の拡大による増収もありました。

営業利益は、増収により大幅に増加し59億円（同51億円増加）となりました。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	1,036	683	51.8%
営業利益	59	8	602.8%

<メカトロシステム事業>

売上高は、358億円（前年同期比27億円、6.9%減少）となりました。前年にあった国内顧客向けの現金処理機の大型案件が一巡し、その反動による売上減少が影響しました。

営業損失は、物量減の影響があったものの、前年に海外子会社を中心に実施した構造改革の効果によって、2億円（同15億円良化）となりました。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	358	385	△6.9%
営業利益	△2	△17	—

＜プリンター事業＞

売上高は、470億円（前年同期比38億円、7.4%減少）となりました。欧州市場におけるオフィス向けが減少したほか、円高による減収影響もありました。

営業利益は、主に物量減とユーロに対する円高の減益影響を受け、21億円（同8億円減少）となりました。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	470	508	△7.4%
営業利益	21	29	△28.5%

＜EMS事業＞

売上高は、前年後半から低調に推移しているF Aや半導体関連の顧客向けを中心に振るわず、291億円（前年同期比39億円、11.8%減少）となりました。

営業利益は、減収により8億円（同8億円減少）となりました。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	291	330	△11.8%
営業利益	8	16	△48.9%

※2019年3月期の数値をリステートしています。

＜その他＞

売上高は28億円（前年同期比2億円、7.5%減少）、営業利益は4億円（同2億円減少）となりました。

単位：億円	2020年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	28	30	△7.5%
営業利益	4	6	△39.3%

※2019年3月期の数値をリステートしています。

(2) 財政状態に関する説明

①当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して76億円減少の3,579億円となりました。自己資本は、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益を41億円計上したことおよびその他の包括利益累計額が13億円増加した一方で、普通配当を43億円実施したこと等により、前連結会計年度末に対して4億円増加の1,003億円となりました。その結果、自己資本比率は28.0%となりました。

資産では主に、受取手形及び売掛金が108億円減少した一方で、有形固定資産が26億円増加しております。

負債では主に、借入金が増加しており、前連結会計年度末786億円から75億円減少し、711億円となりました。

②当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収および税金等調整前四半期純利益を計上したこと等により、121億円の収入（前年同期103億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出があった一方で、投資有価証券や固定資産の売却による収入があったことから、14億円の収入（同51億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとをあわせたフリー・キャッシュ・フローは135億円の収入（同52億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済および普通配当の実施等により、133億円の支出（同94億円の支出）となりました。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額による減少4億円により、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の268億円から266億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、全体としては前年同期比増収増益となり、堅調に推移しました。一方で、事業別には強弱が分かれてきており、足もとの業況を精査した結果、通期の連結業績予想につきましては、売上高を4,600億円（前回公表比100億円増収）、経常利益を155億円（同15億円減益）に修正いたします。また、それぞれの事業別内訳につきましても以下の通り修正いたします。

詳細につきましては、本日開示いたしました「2019年度第2四半期累計 決算概要」をご参照ください。

（ご参考）2020年3月期通期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	450,000	18,500	17,000	14,000
今回発表予想（B）	460,000	18,500	15,500	14,000
増減額（B－A）	10,000	0	△1,500	0
増減率（％）	2.2	－	△8.8	－
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	441,452	17,522	15,477	8,405

単位：億円		2020年3月期 今回予想	2020年3月期 前回予想	増減額
情報通信	売上高	2,210	2,030	180
	営業利益	170	145	25
メカトロ システム	売上高	720	720	0
	営業利益	10	10	0
プリンター	売上高	960	1,040	△80
	営業利益	40	70	△30
EMS	売上高	670	670	0
	営業利益	40	40	0
その他	売上高	40	40	0
	営業利益	5	0	5
消去・本社費	営業利益	△80	△80	0
合計	売上高	4,600	4,500	100
	営業利益	185	185	0

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動、災害等による影響などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,730	29,319
受取手形及び売掛金	106,672	95,886
製品	18,823	21,154
仕掛品	25,007	21,845
原材料及び貯蔵品	20,777	20,884
その他	22,454	25,108
貸倒引当金	△257	△319
流動資産合計	223,206	213,879
固定資産		
有形固定資産	49,393	51,970
無形固定資産	10,457	10,629
投資その他の資産		
投資有価証券	43,621	40,272
その他	38,824	41,194
投資その他の資産合計	82,446	81,466
固定資産合計	142,296	144,066
資産合計	365,503	357,945
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,465	64,711
短期借入金	48,880	46,118
引当金	5,160	4,822
その他	54,688	52,216
流動負債合計	176,194	167,868
固定負債		
長期借入金	29,673	25,029
役員退職慰労引当金	463	420
その他の引当金	1,901	1,557
退職給付に係る負債	30,158	30,633
その他	26,911	31,913
固定負債合計	89,108	89,552
負債合計	265,302	257,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	19,057	19,047
利益剰余金	51,785	50,821
自己株式	△997	△968
株主資本合計	113,845	112,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,816	2,258
繰延ヘッジ損益	169	355
為替換算調整勘定	△10,884	△10,056
退職給付に係る調整累計額	△6,006	△5,201
その他の包括利益累計額合計	△13,904	△12,643
新株予約権	133	141
非支配株主持分	126	126
純資産合計	100,200	100,524
負債純資産合計	365,503	357,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	193,576	218,384
売上原価	143,016	164,072
売上総利益	50,560	54,312
販売費及び一般管理費	49,754	49,110
営業利益	805	5,201
営業外収益		
受取利息	50	50
受取配当金	780	929
雑収入	256	274
営業外収益合計	1,087	1,255
営業外費用		
支払利息	797	871
為替差損	1,496	2,055
雑支出	448	592
営業外費用合計	2,741	3,518
経常利益又は経常損失(△)	△849	2,937
特別利益		
固定資産売却益	1,021	4,830
投資有価証券売却益	—	2,468
関係会社株式売却益	—	165
特別利益合計	1,021	7,463
特別損失		
固定資産処分損	101	248
関係会社株式売却損	—	175
投資有価証券評価損	—	173
災害による損失	—	319
事業構造改善費用	1,645	1,607
特別損失合計	1,746	2,524
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,574	7,877
法人税、住民税及び事業税	437	1,381
法人税等調整額	548	2,416
法人税等合計	986	3,797
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,560	4,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	19
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,579	4,060

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,560	4,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△990	△558
繰延ヘッジ損益	104	186
為替換算調整勘定	914	829
退職給付に係る調整額	138	805
その他の包括利益合計	166	1,262
四半期包括利益	△2,393	5,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,416	5,320
非支配株主に係る四半期包括利益	22	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,574	7,877
減価償却費	5,848	6,055
引当金の増減額(△は減少)	1,006	△522
受取利息及び受取配当金	△830	△980
支払利息	797	871
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,433
固定資産処分損益(△は益)	△903	△4,581
売上債権の増減額(△は増加)	28,471	8,846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,659	△431
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,644	161
その他	△897	△878
小計	11,613	13,982
利息及び配当金の受取額	831	963
利息の支払額	△798	△894
法人税等の支払額	△1,378	△1,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,267	12,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,871	△5,339
有形固定資産の売却による収入	1,261	5,510
無形固定資産の取得による支出	△1,337	△2,074
投資有価証券の売却による収入	—	4,342
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16
その他の支出	△571	△1,414
その他の収入	392	322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,126	1,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,574	2,565
長期借入金の返済による支出	△10,681	△9,435
配当金の支払額	△2,593	△4,299
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,739	—
リース債務の返済による支出	△1,526	△2,105
その他	△449	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,415	△13,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	301	△404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,973	△192
現金及び現金同等物の期首残高	45,481	26,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,508	26,631

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首から「リース」(IFRS第16号)を適用しております。当該会計基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において有形固定資産が2,262百万円、流動負債のその他が960百万円、固定負債のその他が1,740百万円それぞれ増加しており、利益剰余金が533百万円減少しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(工事進行基準の適用範囲拡大)

従来、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、原価管理体制の整備強化等に伴い、その他の工事の一部についても信頼性のある見積りが可能となったことから、これらの工事についても工事進行基準を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において売上高が16,205百万円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が1,723百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報通信	メカトロ システム	プリンター	EMS	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	68,283	38,479	50,815	32,965	190,544	3,031	193,576	—	193,576
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,181	988	2,460	591	6,222	7,242	13,464	△13,464	—
計	70,465	39,468	53,276	33,557	196,766	10,274	207,041	△13,464	193,576
セグメント利益 又は損失(△)	835	△1,747	2,919	1,559	3,566	587	4,153	△3,348	805

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△3,348百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,352百万円及び固定資産の調整額7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報通信	メカトロ システム	プリンター	EMS	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	103,640	35,826	47,035	29,077	215,579	2,804	218,384	—	218,384
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,889	642	2,693	641	5,866	7,681	13,548	△13,548	—
計	105,529	36,468	49,728	29,719	221,446	10,486	231,932	△13,548	218,384
セグメント利益 又は損失(△)	5,869	△184	2,086	797	8,568	356	8,924	△3,723	5,201

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△3,723百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,729百万円及び固定資産の調整額△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、昨年度に引き続き営業から設計・製造、評価までのワンストップサービスの更なる強化を目的とするEMS事業の再編を行いました。これに伴って、従来「その他」の区分に含めておりました一部の事業を「EMS事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。